

ライク・ア・ローリングストーン

溪流＝谷川・谷川の流れ（日本国語大辞典より）

山間部にある溪谷や峡谷のように、切り立った崖や大きな岩に縁どられた山間を流れる谷川を溪流と呼ぶ。流れる水は、岩や地面からしみ出した湧水などが集まったものである。

啓北商業高校の生徒会誌には「溪流」の名が付けられています。生徒会指導部が所蔵する創刊号の編集後記には、「数多くの応募作品の中から選ばれた、啓北商業高校のこれからの発展を表すにふさわしいもの」と表現されていました。また、「啓北商業高校の歴史の流れを表す」とも記されていました。

溪流を形作るのは、啓北商業高校に通う生徒の皆さんです。その時代時代に高校生活を送った人たちが、大きな流れとなって今の啓北商業高校を作り上げてきました。

最初はわずかな水の流れも、時間をかけて集まれば、谷を切りひらく大きな流れとなります。その流れは、時として大きな岩も押し流す力となります。

溪流は地面を削り、小石や砂礫として下流へ運んでいきます。下流に運ばれた小石や砂礫は堆積し、肥沃な平野を作り上げていきます。平野には人が集まり、町が生まれ、文化や商業が発展していきます。

啓北商業高校の歴史の中で、先輩たちが切りひらいた道を礎として、後輩がそれを受け継ぎ発展させてきました。それが脈々と流れ続ける溪流を作り出しているのだと思います。

個人としての成長過程が水の流れであり、共に過ごす学び舎の中で合わさり、大きな流れとなる。その流れは大きな力となって周囲を巻き込み歴史を作り上げていきます。

1962年にイギリスで結成された「ローリング・ストーンズ」というロックバンドがあります。ブライアン・ジョーンズ、イアン・スチュワート、ミック・ジャガー、キース・リチャーズの4名で結成されたバンドで、その後ビル・ワイマン、チャーリー・ワッツが加入しました。このバンドはメンバーの脱退や参加が繰り返されてはいますが、1960年代から現在まで一度も解散することなく、いまだ現役で活躍を続けるロック界の最高峰に君臨するバンドです。

「ローリング・ストーンズ」のバンド名は、彼らが音楽の神様だと思っていたマディ・ウォーターズのヒット曲「ローリング・ストーン」に由来するという説が有力です。

実は、「ローリング・ストーン」という言葉は、アメリカの雑誌の名前にもあり、ボブ・ディランの最大のヒット曲である「ライク・ア・ローリング・ストーン」にも使われています。

イギリスのことわざに「転石に苔むさず」(A rolling stone gathers no moss.) というのがあります。「職業や住居をころころと変える人は、財産や名声も得られない」(イギリス)という警告の意味のことわざですが、転じて「活発に活動している人は生き活きとしていて、時代に取り残されることがない」(アメリカ)という意味でも使われています。

石にはえる苔を良いものとしてとらえるか、悪いものとしてとらえるかで解釈が変わります。これからの予測困難な社会を生き抜くためには、柔軟な発想と機敏な行動が求められ

るので、アメリカのポジティブな発想が良いかもしれません。

「転石に苔むさず」「ライク・ア・ローリング・ストーン」溪流を流れる水は石を押し流します。どこにあっても、自分らしく生き活きと活動してください。